

川上ダム建設に対する意見書

川上ダム建設の是非について論議が行われ、建設に反対という論議がされていることに
対し、憤りを覚えると共に非常に残念な思いで一杯です。先祖代々から守り続けてきた安
住の地である故郷を断腸の思いで後にしてきた私たちには過酷で、また、悩み続けてきた
この40年近い歳月は一体何だったのだろうか、思い悩む日々が続いています。

約40年前に降って湧いたようなダム建設の話に「なぜ、川上なのか。」「先祖代々の
安住の地から出なければならぬ。」「生活設計・生活再建は。」など眠れない不安な毎日
が続きました。笑い声が絶えなかった家族団欒の場がその時を境に重苦しいものになっ
ていったのです。当時は、主に農林業中心の生活で、生産の場を奪われることは農林業以
外の職業に従事したこともない年齢を重ねた親には、生活再建に向けて別の職業に就くこ
となど、さらに不安を大きくしました。

寝ても覚めても『ダム』という二文字に怯え悩み涙する中で、苦渋の決断をせざるを得
なかったのです。眠れない日々が続きました。ダム建設に向けての事業が開始され、住み
慣れた我が家・故郷を後にしました。先祖から受け継いだ尊い土地です。移転の際は、こ
れまでの生活や命を支えてくれた土地への感謝と先祖への申し訳なさで一杯でした。また、
深い眠りにについている先祖の眠りを覚ます「墓の掘り起こし」も行いました。

断腸の思いで移転を決め、移転地での生活再建も始まっています。区民の多くは、「ま
だ以前の家やら田（畑）の夢しか見やへんわ。」と目に涙を浮かべながら話します。故郷
も草丈が伸び、見るに忍びません。車で通るだけでも、工事が遅々として進まず荒れ果て
ていく故郷の姿に涙が出てきます。40年近いこれまでの苦労は一体何だったのでしょうか。
心身も含め莫大な犠牲を払ったことは言うまでもありません。

最近の気象の変化には驚くばかりです。夏の猛暑や集中豪雨による洪水や斜面の崩壊、
土石流などが各地で起こっています。ダム建設予定地は京阪神の上流であり上野地区（洪
水に悩まされてきた地域）の上流でもあります。そして、地理的に青山の中心であること
で利水・治水など人的な意味においても大切なダムであると思います。

何卒、私たちの心境もお察しいただき、1日も早くダム建設に着工していただきますこ
とを願っております。

伊賀市

川上正彰